

1170 | 日本画 III

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

重政啓治教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星見講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

古典の模写を行うことで古来の作品を鑑賞しながら日本画の素材がどのように扱われ使用されて来たかを探り、その中にある様々な技法や様式を再現することで、基本としての日本画の素材を扱う方法や描法の研究をする。

通信授業では、線の美しさや勢いのある線の練習をして筆力を養う。面接授業では、鳥獣戯画等の絵巻物を模写することで、各種の線描法と上げ写し法を学び、彩色模写では、障壁画等に見られる多種多様な技法や技術、工程法などを知り、地作りから仕上げまでを行う。

課題の概要

○通信授業課題「墨で描く」

筆の種類（彩色、削用、則妙、面相筆等）、和紙の種類（生、ドウサ引き）などを使い分けたくさんの線描を行う。又、筆を使った線描法でデッサンをする。

○面接授業課題「古典模写」

古典の模本をもとに線描による模写、彩色による模写をする。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『日本画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』の「日本画Ⅲ」、教科書『日本画・表現と技法』の「古典模写」をもとにした授業。

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及び制作「線描模写」	午後：制作
第 2 日	午前：制作	午後：制作
第 3 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評
第 4 日	午前：前提講義及び制作「彩色模写」	午後：制作
第 5 日	午前：制作	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「日本画Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（日本画コース3年次編入学生を除く）。

[備 考] 油絵学科日本画コース3年次必修科目。

「日本画Ⅲ」、「日本画Ⅳ」、「日本画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されている。ただし、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。

教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版局 2004 年）

学習指導書：『日本画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）